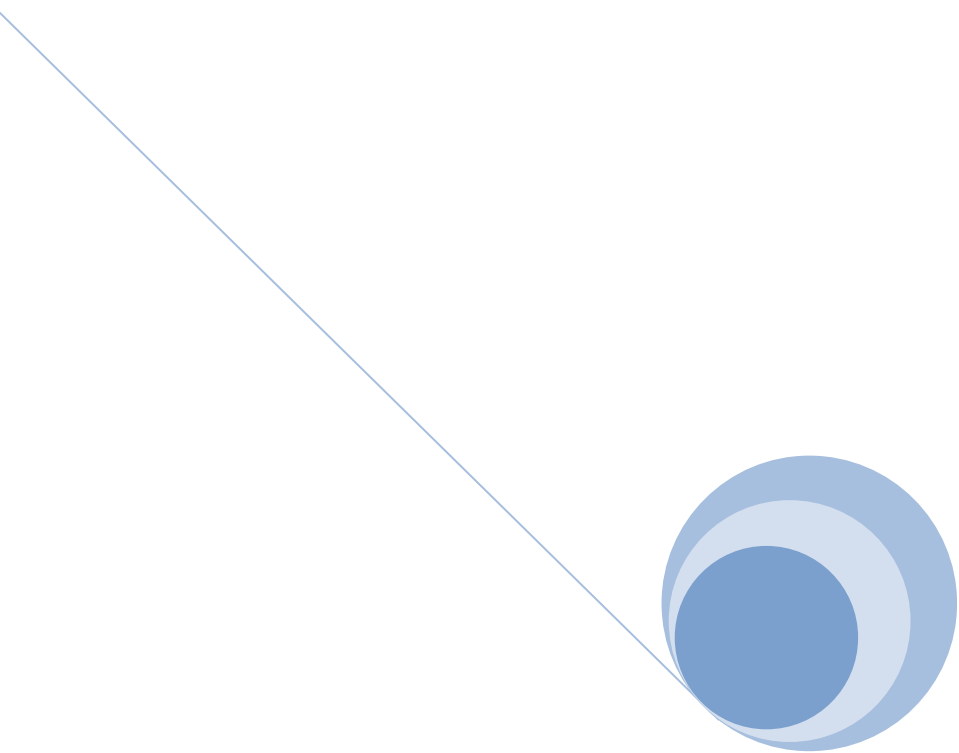


平成 27 年度 大気環境学会中部支部 評 議 員 会

1. 日時 平成 28 年 1 月 24 日(日) 11:30~12:00
2. 場所 石川県政記念 しいのき迎賓館
セミナールーム A
石川県金沢市広坂 2 丁目 1 番 1 号
3. 議事
 - (1) 平成 26 年度の事業報告、決算報告、会計監査報告
 - (2) 平成 27 年度事業経過報告
 - (3) 平成 27 年度決算見込み
 - (4) 平成 28 年度事業計画案、予算案
 - (5) その他

大気環境学会中部支部事務局





議事 1 平成 26 年度の事業報告、決算報告、会計監査報告

平成26年度（2014年7月1日～2015年6月30日）

大気環境学会中部支部 事業報告書

1 平成26年度 評議員会

日 時 : 2015年1月31日(土) 12:00～12:45
場 所 : 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」ミーティングルームA
新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1
出席者 : 大泉支部長、評議員8名、委任状提出評議員3名、その他幹事等4名
議題等 : 平成26年度中部支部総会へ提出する議題について協議

2 平成26年度 総会

日 時 : 2015年1月31日(土) 13:00～13:30
場 所 : 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」講義室A
新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1
出席者 : 出席者20名、委任状提出者70名 計90名（会員数175名）
議題等 : 平成25年度の事業報告・決算報告・会計監査報告
平成26年度事業経過報告
平成26年度決算見込み
平成27年度事業計画案・予算案
原案の通り承認された。

3 平成26年度 公開シンポジウム

「日本海及び北東アジア域における越境大気汚染の現況」

日 時 : 2015年1月31日(土) 14:00～17:50
場 所 : 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」講義室A
新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1
共 催 : 環境省環境研究総合推進費早川班
後 援 : 新潟県、新潟市
参加者 : 44名
演 題 : 日本のバックグラウンド地域でみた中国北部都市の大気汚染の変遷
早川 和一（金沢大学）
残留性有機汚染物質を巡る国際・国内動向と日本海周辺における存在実態
高澤 嘉一（国立環境研究所）
放射性核種を用いた日本海域における大気－海洋間の物質動態研究
長尾 誠也（金沢大学）
新潟県における越境大気汚染による微小粒子状物質（PM_{2.5}）濃度の現状
猪股 弥生（アジア大気汚染研究センター）

富山県におけるアジア大陸起源物質の大気環境への影響

木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）

4 平成26年度 共催事業：日本エアロゾル学会 都市大気のPM_{2.5}研究会 講演会・勉強会

- 日時：2015年2月26日(木) 13:00～16:15 (講演会)
2015年2月27日(金) 9:00～12:00 (勉強会)
- 場所：エクシブ鳥羽
三重県鳥羽市安楽島町字ニエ212-1
- 主催：日本エアロゾル学会 都市大気のPM_{2.5}研究会
- 共催：大気環境学会都市大気エアロゾル分科会、大気環境学会酸性雨分科会、大気環境学会中部支部
- 協力：全環研東海近畿北陸支部共同調査研究（越境／広域大気汚染）
- 参加者：講演会26名、勉強会30名
- 演題(講演会)：全環研酸性雨データの活用例と排出インベントリを活用した大気質予測について
特別講演・排出インベントリの概要及び化学輸送モデルへの活用について
山地 一代（神戸大学海事科学研究科）
化学輸送モデルによるPM_{2.5}濃度及び酸性沈着の濃度予測について
堀江 洋佑（兵庫県環境研究センター）
全環研酸性雨データについて(1)-概論-
堀江 洋佑（兵庫県環境研究センター）
全環研酸性雨データについて(2)-活用例について-
藍川 昌秀（国立環境研究所）
- 演題(勉強会)：酸性雨及びPM_{2.5}に関する統計解析の概論及び実践
自治体での全環研調査例-三重県の酸性雨の現状について-
西山 亨（三重県企業庁水質管理情報センター）
ベイズ統計の概要及び実践
久恒 邦裕（名古屋市環境科学調査センター）
WRF/HYSPLITモデルによるPM_{2.5}濃度解析及びPSCF法の概要及び実践
中坪 良平（兵庫県環境研究センター）

5 その他

支部ホームページの運営を開始。

(平成27年7月1日大気環境学会事務局へ報告)

平成 26 年度 大気環境学会中部支部収支決算報告
(H26/7/1～H27/6/30)

収入の部

科 目	予 算 額	執 行 額
前年度繰越金	6,532 円	6,526 円
支部補助費	150,000	124,893
雑 収 入	0	14
計	156,532	131,433

支出の部

科 目	予 算 額	執 行 額
総会・講演会費	110,000 円	72,095 円
謝金	30,000	10,000
旅費	25,000	0
通信運搬費	15,000	9,360
印刷費	5,000	37,800
使用料	35,000	14,935
部会費	0	0
事務費	40,000	42,798
消耗品費	5,000	2,540
交通費	5,000	22,390
通信運搬費	20,000	2,268
会議費	10,000	15,600
共催分担金	0	10,000
予備費	6,532	0
計	156,532	124,893

(収入) (支出) (残高)
131,433 - 124,893 = 6,540 円 (平成 27 年度へ繰越)

(平成27年7月1日大気環境学会事務局へ報告)

大気環境学会中部支部


平成 26 年度会計監査報告書

大気環境学会中部支部の平成 26 年度会計処理状況について、貯金通帳、領収書等関係書類を基に精査したところ、別紙「平成 26 年度 大気環境学会中部支部収支決算書」のとおり、適正に執行されていたことを承認いたします。

平成 27 年 6 月 18 日

大気環境学会中部支部

監事

山下 研 

議事2 平成27年度事業経過報告

1 平成27年度 評議員会

日時 : 2016年1月24日(日) 11:30~12:00
場所 : 石川県政記念 しいのき迎賓館 セミナールームA
石川県金沢市広坂2丁目1番1号
議題等 : 平成27年度中部支部総会へ提出する議題について協議

2 平成27年度 中部支部 総会

日時 : 2016年1月24日(日) 12:10~12:30
場所 : 石川県政記念 しいのき迎賓館 セミナールームB
石川県金沢市広坂2丁目1番1号
議題等 : 平成26年度の事業報告・決算報告・会計監査報告
平成27年度事業経過報告
平成27年度決算見込み
平成28年度事業計画案・予算案

3 平成27年度 中部支部 一般公開シンポジウム

PM_{2.5} ー汚染は悪化?それとも改善している?ー

日時 : 2016年1月24日(日) 13:30~16:40
場所 : 石川県政記念 しいのき迎賓館 セミナールームB
石川県金沢市広坂2丁目1番1号
共催 : 環境省環境研究総合推進費早川班
演題 : 能登半島における過去10年間の越境大気汚染物質の観測
唐 寧 (金沢大学)
PM_{2.5}と化学反応 亀田貴之 (京都大学)
大気汚染と健康~PM_{2.5}を中心に~ 島 正之 (兵庫医科大学)
富山県における地上及び上空大気中の過酸化水素の動態
ー北陸山岳域における硫酸エアロゾル生成量評価ー
渡辺幸一 (富山県立大学)

4 平成27年度 共催事業 : 第33回全環研協議会東海・近畿・北陸支部共同調査研究

(越境/広域大気汚染) 情報交換会・PM_{2.5}の化学特性に関する研究会

日時 : 2015年10月8日(木) 13:30~17:00 (講演会)
10月9日(金) 9:00~12:30 (見学会)
場所 : JR岐阜駅ハートフルスクエアG 大研修室
岐阜県岐阜市橋本町1-10
(見学会) 国設伊自良湖酸性雨測定局、岐阜県保健環境研究所
参加者 : 講演会29名、見学会20名
演題 : 酸性雨問題の歴史と将来展望
村野 健太郎 (法政大学)

大気沈着による森林物質循環系の攪乱

佐瀬 裕之 (アジア大気汚染研究センター)

東海地域における PM_{2.5} 主要成分の観測

唐澤 正宜 (豊田中央研究所)

岐阜県保健環境研究所の紹介

林 弘一郎 (岐阜県保健環境研究所)

議事 3 平成 27 年度決算見込み

収入の部

科 目	予 算 額	執行見込額
前年度繰越金	2,730 円	6,540 円
支部補助費	150,000	150,000
雑 収 入	0	1
計	152,730	156,541

支出の部

科 目	予 算 額	執行見込額
総会・講演会費	100,000 円	2,860 円
謝金	30,000	0
旅費	30,000	0
通信運搬費	2,000	2,860
印刷費	3,000	0
使用料	35,000	0
部会費	0	0
交付金	0	0
事務費	52,000	62,358
消耗品費	2,000	1,458
交通費	10,000	24,200
通信運搬費	25,000	21,660
会議費	15,000	15,040
共催分担金	0	10,000
予備費	730	74,783
計	152,730	150,001

(収入) (支出) (残高)
 156,541 － 150,001 ＝ 6,540 円 (平成 28 年度へ繰越)

議事 4 平成 28 年度事業計画案、予算案

1 事業計画（案）

（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

（ア）平成 28 年度 総会

年 1 回（講演会と同時開催）
時 期：平成 28 年 12 月頃
場 所：未定

（イ）平成 28 年度 学術講演会

年 1 回（総会と同時開催）
時 期：平成 28 年 12 月頃
場 所：未定

（ウ）平成 28 年度 評議員会

年 1 回（総会と同時開催）
時 期：平成 28 年 12 月頃
場 所：未定

2 平成 28 年度 予算 (案)

(ア) 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	6,540 円	
支部補助費	150,000	
雑 収 入	0	
計	156,540	

(イ) 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
総会・講演会費	65,000 円	
謝金	30,000	講師謝礼
旅費	10,000	講師旅費
通信運搬費	3,000	総会案内郵送等
印刷費	2,000	要旨集印刷
使用料	20,000	会場等
部会費	0	
交付金	0	
事務費	57,000	
消耗品費	2,000	事務用品等
交通費	30,000	事務連絡等
通信運搬費	10,000	郵送等
会議費	15,000	評議員会等
共催分担金	30,000	
予備費	4,540	
計	156,540	

大気環境学会中部支部役員 (平成 26～27 年度)

職名	氏名	勤務先
支部長 (理事)	おおいずみ つよし 大泉 毅	新潟県保健環境科学研究所
理事	はやかわ かずいち 早川 和一	金沢大学医薬保健研究域薬学系／環日本海域環境研究センター
理事	みなみ ゆきや 皆巳 幸也	石川県立大学生物資源環境学部環境科学科
監事	やました けん 山下 研	(一財)日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター
評議員	やまがみ まきこ 山神 真紀子	名古屋市環境科学調査センター
評議員	はなおか よしのぶ 花岡 良信	長野県環境保全研究所大気環境部
評議員	やました けん 山下 研	(一財)日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター
評議員	まつもと きよし 松本 潔	山梨大学大学院医学工学総合研究部
評議員	せ と たかふみ 瀬戸 章文	金沢大学理工研究域自然システム学系
評議員	かわかみ ともり 川上 智規	富山県立大学工学部環境工学科
評議員	みはら としゆき 三原 利之	岐阜県産業技術センター
評議員	さかまき ふみお 酒巻 史郎	名城大学理工学部環境創造学科
評議員	おさだ かずお 長田 和雄	名古屋大学大学院環境学研究科
幹事 (事務局長)	たけ なおこ 武 直子	(一財)日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター
幹事	さとう けいち 佐藤 啓市	(一財)日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター
幹事	やまがみ まきこ ※山神 真紀子	名古屋市環境科学調査センター
幹事	おさだ かずお ※長田 和雄	名古屋大学大学院環境学研究科
幹事	やごう ひろあき 家合 浩明	新潟県保健環境科学研究所

※ 評議員との兼務

事務局 (一財)日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター

大気環境学会中部支部規約

- 第1条 (名称)
本団体は、大気環境学会中部支部（以下、「支部」という。）と称する。
- 第2条 (事務局)
支部の事務局は、支部長の所属する県内におく。
- 第3条 (目的)
支部は、大気環境に関する調査・研究、情報交換を行うため、講演会、研究発表会等を開催する。
- 第4条 (会員)
支部の会員は、中部地方（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、三重県、静岡県及び愛知県）に所在する機関に属するか、若しくはそこに居住する公益社団法人（以下、「(公社)」という。）大気環境学会の正会員、学生会員、法人会員、賛助会員及び名誉会員により構成される。
- 第5条 (役員)
支部には、次の役員をおく。
1. 支部長 1名。支部を代表し会務を総括する。
2. 理事 数名。支部の会務を執行する。
支部長に支障があるときは、その職務を代行する。
3. 監事 1名。支部の活動と会計を監査する。
4. 評議員 数名。支部の重要事項について支部長の諮問に応じる。
- 第6条 (役員を選出)
支部長は、中部支部から選出された(公社)大気環境学会理事（以下、「学会理事」という。）の中から互選により選出する。
2. 理事は、支部長に選出された理事以外の支部内の学会理事を言う。
3. 監事は、評議員の中から支部長が委嘱する。
4. 評議員は、支部の各県の正会員数に応じて、凡そ20名に1名を定員として、本部の理事選挙に際して、正会員の投票により正会員の中から選出する。
- 第7条 (幹事)
支部に幹事を若干名おくことができる。
幹事は、支部長が委嘱する。支部事務局の会務に従事する。
- 第8条 (任期)
第5条に規定する支部の役員及び第7条の幹事の任期は2年とし、(公社)大気環境学会役員の任期と同一期間とする。ただし、再任は妨げない。
- 第9条 (会議)
支部の会議は、総会と評議員会とする。
2. 支部長は年1回の定期支部総会と年1回以上の評議員会を開催するものとする。ただし、支部長が必要と認める場合に、臨時支部総会を開催することができる。
3. 支部総会は正会員の1/2以上の出席をもって成立する。出席者数には提出された委任状の数も含めることができる。
4. 支部総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。
5. 支部総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。
6. 支部評議員会は、支部役員の1/2以上の出席をもって成立する。
7. 支部評議員会における議決権は、支部役員1名につき1個とする。
8. 支部評議員会の決議は、出席した支部役員の議決権の過半数をもって行う。
- 第10条 (会計および事業年度)
支部の経費は(公社)大気環境学会から交付される支部費をもってあてる。ただ

し、必要な場合には、会員より臨時の会費を徴収することができる。

2. 事業年度は、毎年7月1日から翌年の6月30日までとする。

第11条 本規約にない事項については（公社）大気環境学会定款に準じるものとし、規約の改正が必要な場合は評議員会に諮り、総会の承認を得るものとする。

付 則 支部の設立年月日は昭和59年9月26日である。

改 正	昭和	62	年	10	月	12	日
	平成	2	年	9	月	22	日
	平成	3	年	11	月	21	日
	平成	7	年	12	月	8	日
	平成	14	年	12	月	1	日
	平成	27	年	1	月	31	日